

---

## ソフィアシステムズ

### マーベル PXA310 プロセッサ搭載、Windows/Linux に対応した 携帯情報端末/IP 電話向け開発プラットフォーム「Sandgate III-P」を発表

---

#### ◆報道関係各位

マイコン開発支援装置の総合システムメーカーである株式会社ソフィアシステムズ(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:原島克美、資本金 90 百万円、ソフィアホールディングス(JASDAQ 上場企業(6942))の 100% 子会社、以下ソフィア)は、この度、マーベル製 PXA310 プロセッサ 624MHz を搭載した、携帯情報端末/IP 電話向け開発プラットフォーム「Sandgate III-P」(サンドゲートスリーピー)を開発し、販売を開始しました。

ソフィアは、これまでもマーベル製(旧インテル製)PXA アプリケーション・プロセッサを継続してサポートし、JTAG エミュレータ、リファレンスボード等の開発ソリューションは、日本国内はもとより広く海外にも販路を広げ、世界各地で組込みシステムエンジニアの開発支援を行っています。

今までの組込み開発における一般的なプラットフォームとは、マイコン搭載の評価ボードに OS を移植し、Board Support Package(以下 BSP)を提供するといった内容に留まっていたが、2005 年にソフィアが発表した PXA270 搭載の「Sandgate シリーズ」では、先進的な開発を行っている通信系ソフトウェアメカと協力し、OS 移植/BSP 提供の他にも、各種ミドルウェア、搭載部品のドライバに至るまで一貫して提供するという完成品に限りなく近い画期的なスタイルを確立しました。これらの新しいプラットフォームの登場は、通信系ソフトウェアメカが組込み市場へ販路を広げ、組込みエンジニアは通信機能を製品に付加するのが容易になるなど、組込み開発と通信の融合を実現しました。

ソフィアの「Sandgate II -P」、「Sandgate VoIP Phone」、「Sandgate W-SIM Phone」が、新しい形を築いた第 1 世代のプラットフォームソリューションとするなら、今回発表する「Sandgate III-P」は、さらにパワーアップした第 2 世代の開発プラットフォームと位置づけられます。

「Sandgate III-P」は、より多くのソフトウェア/ミドルウェアメカ、部品メーカーと協力し、市場ニーズの高い OS「Microsoft Windows Embedded CE 6.0」、「Linux」に対応しました。エンジニアは、この開発プラットフォームを使用することによって、ハードウェア/ソフトウェアの並行開発を行うことができ、開発全体の期間短縮に繋がることができます。

今回搭載した PXA310 プロセッサは、マーベル製の最新プロセッサであり、ビデオアクセラレーション機能を搭載した高性能、低消費電力の特性を生かし、近年の高機能の要求に十分なパフォーマンスで応えることができます。

「Sandgate III-P」の主な用途としては、携帯情報端末や IP 電話の開発評価用として想定されているだけでなく、アプリケーション・ソフトウェアやミドルウェアなどの開発・評価、ユーザ・インタフェースなどの研究・開発、携帯電話や携帯情報端末向けの新しいビジネスモデルの構築やフィールド検証、エンタープライズ向けの携帯端末を前提としたシステム開発や検証、そしてそれらの実証評価、デモ等に至るまで、幅広く考えられます。

この開発プラットフォーム「Sandgate III-P」に、マーベル PXA300 シリーズ・プロセッサ対応のソフィア製「EJ-Debug」(JTAG エミュレータ)を組み合わせて使用することにより、オンチップデバッグが可能になります。ホスト PC 上のデバッガ「WATCHPOINT」は、各種フォーマット・モジュールの高速ダウンロード機能、シンボルやソースファイル、関数などへ簡単にアクセスする機能、ソースおよび逆アセンブラ修正・保存機能、専用ウィンドウによる内蔵レジスタの参照および変更機能、フラッシュ ROM へプログラムを直接ダウンロードする機能などを装備しています。高級言語デバッグの他に、各種 OS デバッグに対応しています。ホストコンピュータとは、USB で接続され、USB バスパワーで動作いたします。

ソフィアは、日本における組込み開発支援のリーディングカンパニーとして、高品質でより良い製品を効率よく市場へ投入するための支援を最重要課題としております。

●今回の発表に際して、各社から下記のコメントが寄せられています。

**マイクロソフト株式会社 モバイル&エンベデッドデバイス本部長 梅田 成二氏**

「ソフィアシステムズ様の Windows Embedded CE 6.0 対応の新たなリファレンスプラットフォーム「SandgateⅢ-P」の発表、おめでとうございます。Windows Embedded CE では WiFi、Bluetooth や携帯電話網を利用した IP 通信の標準プロトコルや関連するミドルウェアなどをサポートしており、VoIP などのアプリケーションを実装するのに必要な作業などを大幅に短縮することができます。」 SandgateⅢ-P」との組み合わせにより、ハードウェアの開発期間を含め、開発コストの削減や開発期間の短縮を実現すると共に、差別化要素であるアプリケーションやサービスの開発にリソースを集中していただくことが可能になり、業務の効率性向上につながることを期待しております。」

**Marvell Semiconductor Inc. Cellular and Handheld Business Group Platform Enabling Director Gary Forni 氏**

「Marvell の PXA300 シリーズ・アプリケーション・プロセッサは、高性能スマートフォンをはじめ、組み込み型システム/端末や GPS ナビゲーション・システム、ハンドヘルド、そして民生家電機器向けに特化して開発されました。ソフィアシステムズ社が本日発表された Sand Gate-Ⅲ P は Marvell 社の顧客に対して、マイクロソフト社の Windows Embedded 6.0 を代表とする OS とともに Marvell PXA300/310 への完全な開発環境を提供するものとしてたいへん期待しています。」

**Intrinsyc Software International Worldwide Sales and Business Development, Executive Vice President & General Manager, Mark Johnston 氏**

「ソフィアのリファレンスシステムは、次世代のハンドヘルドおよび組み込みデバイスの設計/開発手法においてリードしています。Intrinsyc は、ソフィアと協力してソフィアの新しいプラットフォーム「Sandgate-3P」上で、Windows Mobile 6, Windows Embedded CE を動作させ、世界に名高い Intrinsyc のシステムインテグレーターとしての経験を日本市場へ提供できることに、大変刺激を受けています。」

**株式会社インターナショナル システム リサーチ 代表取締役社長 ラウル・メンデス氏**

「株式会社インターナショナル システム リサーチ(以下 ISR)は、VoIP 関連システムの受託開発及び VoIP 対応ソフトフォン(PPPhone-SDK 含む)開発販売を行ってまいりました。特に ISR は、Mobile 機器の VoIP システム開発に多くの実績があります。ISR は、この度、株式会社ソフィアシステムズ様より発表されました「SandgateⅢ-P」と「PPPhone-SDK」との組み合わせにより製品化されるソリューションは、必ずや Mobile 市場のより一層の発展に寄与出来るものと確信しております。」

**Trolltech Ecosystems 社 Director David Bialer 氏,**

「Trolltech は W-SIM と VoIP、関連設計の Sandgate Ⅲ-P に関するソフィアシステムズの新しい発表を歓迎します。また、私達もソフィアシステムズとの良い協力関係を続け、モバイルリナックス産業を促進するために協力関係を築くことができ非常に誇りに思います。Qtopia を搭載している Sandgate Ⅲ-P は組み込み分野において Linux が持っているユーザー指向の柔軟性と Time To Market を短縮できるメリットを証明できる強いポイントを示してくれるでしょう。」

**株式会社ソフトフロント 代表取締役社長 阪口 克彦氏**

「ソフトフロントは、「SandgateⅢ-P」を通じて、長年培ってきた SIP/VoIP 技術力と高い相互接続性を提供することにより、通信機器や携帯端末メーカー様の製品開発の期間短縮、効率化の実現に強力にサポートしてまいります。この度の協業は、今後ますます期待が高まる次世代ネットワーク製品の普及・拡大に貢献できるものと考えております。」

**株式会社富士通ビー・エス・シー エンベデッドシステム本部 取締役副本部長 廣澤 満治氏**

「新製品発表、誠にありがとうございます。昨今様々な携帯情報端末が企画される中、多機能且つ高品質な端末製品を短期間に市場投入できる開発プラットフォームへのニーズは非常に高まってきております。富士通ビー・エス・シーは、高性能組み込み用インターネット・メール「Be Star Mail」の提供をはじめ、各種アプリケーションのカスタマイズ・最適化、SI についてもサポートをしてまいります。ソフィアシステムズ様の製品ラインナップに対し、弊社の製品および SI を組み合わせることで、より最適なソリューションが展開できるものと期待しております。」

**株式会社ネットディメンション 代表取締役 林 徹氏**

「この度は「SandgateⅢ-P」のご発表おめでとうございます。ネットディメンションでは、3D オーサリングシステム MatrixEngine の「SandgateⅢ-P」対応を鋭意進行中です。機能・性能共に強化された開発プラットフォーム「SandgateⅢ-P」において、高度な 3D-GUI が求められることは必至であり、弊社 MatrixEngine は相応しいソリューションであると確信します。この分野でソフィアシステムズ殿と協業できることは大変光栄であり、今後が期待されます。」

## ●各社からのコメント続き

### 株式会社エイチアイ専務取締役 兼 CTO 鈴木 啓高氏

「株式会社エイチアイは、株式会社ソフィアシステムズ SandgateⅢ-P の発表を歓迎致します。携帯電話に代表される組込み機器の性能が向上する中で、そのソフトウェア開発期間も短縮の傾向が見られます。さらにその中で品質の高いものを開発するためには開発環境はもちろん、実機に近い環境で実行結果をすぐに確認できる環境はソフトウェア開発において必要不可欠な存在です。また、お客様に対して提案を行う際にも実機を想定したハードウェアで実行結果を確認できることは効果的なアプローチであり、プロトタイプ開発を行う側からもイメージを直感的に伝えやすいという意味でも望ましい環境であるといえます。ユーザエクスペリエンス(User Experience)を提案する我々にとっても、提案するイメージを実際に手にとって直感的に感じていただくハードウェア環境があることは非常に喜ばしいことであると考えます。貴社製品 SandgateⅢ-P はそのよう環境を提供していただける優れた1つの環境であり、エイチアイが提供するソフトウェア群と融合することにより、さらなるユーザエクスペリエンスを創造できる環境だと期待しております。」

## ●株式会社ソフィアシステムズについて

株式会社ソフィアシステムズは 1975 年に設立され(2007 年 1 月に「株式会社ソフィアシステムズ準備会社」に全事業を承継し、2007 年 4 月に「株式会社ソフィアシステムズ」に名称変更、株式会社ソフィアホールディングスを親会社とする 100%出資子会社となる)、30 年にわたり一貫して組込みシステム分野でリーダ的役割を担い、マイコン開発支援装置をベースにした包括的な開発ソリューションを提供して参りました。

ソフィアは、組込み開発の有力企業と、緊密な関係で仕事をしています。また、先駆的なテクノロジーを持つ企業などと、新しいパートナーシップを形成するよう常に努力しています。ソフィアは、多くのハードウェアエンジニアおよびソフトウェアエンジニアが、限られた時間と予算内で、開発プロジェクトを完了させることを可能にする、強力で信頼性のあるリアルタイム・マイクロプロセッサ・エミュレーションシステムを一貫して提供しています。この高品質な製品は、企業や官公庁、研究機関、学校関係などの顧客から、長期にわたり支持されています。

ソフィアは、国内では、東京および大阪に営業拠点があります。また海外では、北米、その他アジアや中東、ヨーロッパに、販売代理店網があります。

ソフィアに関する詳細は、ソフィア Web サイト <http://www.sophia-systems.co.jp> (日本語)、<http://www.sophia-systems.com> (英語)を参照して下さい。

## ●掲載希望日:2007 年 09 月 18 日(火)以降

●サポート製品: SandgateⅢ-P

●販売価格:600,000 円

●出荷予定:2007年10月下旬

◆本記事に対するお問い合わせ先:

(株)ソフィアシステムズ 営業推進部・マーケティング

TEL 044-989-7245、FAX044-989-7014

E-Mail:market@sophia-systems.co.jp

<http://www.sophia-systems.co.jp/>

WATCHPOINT はソフィアシステムズ社の登録商標です。  
その他の会社名、商品名、商標はそれぞれの所有者に帰属します。

**記事の掲載をご検討頂ければ幸いです。**